

第53回全国大学保健管理研究集会

愛媛大学総合健康センター 看護師 宮内 浩美

平成27年9月9日（水）～10日（木）岩手県盛岡市で開催された第53回全国大学保健管理研究集会に参加しました。



今年の研究集会のテーマは
～健康を大学から地域へ
感謝とともに～

特別講演、教育講演、シンポジウム、
研究発表など、盛りだくさんの
2日間でした。



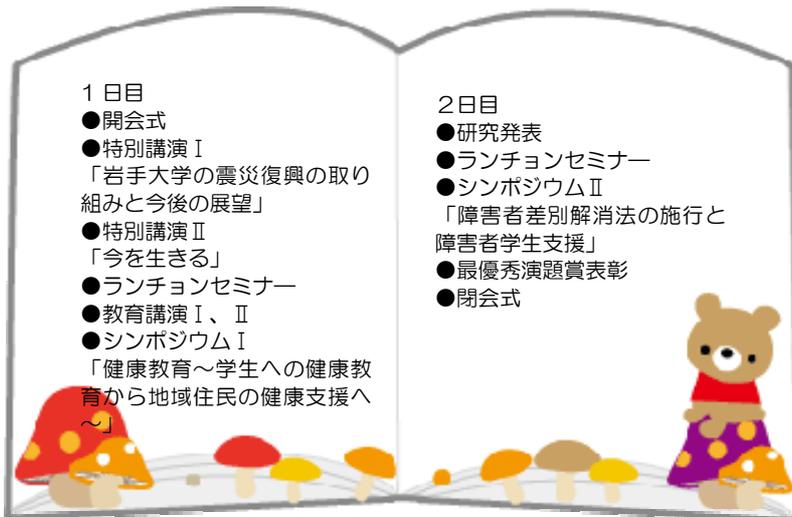
開会式の後、

岩手大学 岩淵 明学長より、

「岩手大学の震災復興の取り組みと
今後の展望」という演題での
特別講演がありました。

東日本大震災で被災地となった
岩手県において、

復興に向けた大学と地域との「協創」
の取り組みについて、貴重なお話を
きかせていただきました。



岩手大学学長による
特別講演の様子です。



会場の様子



当番校の
岩手大学スタッフの
みなさん
お疲れさまでした！



復興に関連した
パネルが
数多く見られました



保健指導・健康教育の
情報交換コーナーが
設けられていました。



各保健看護地方部会の活動紹介コーナーです。

中国・四国地区は山口大学 森福さんが親しみやすく分かりやすい活動報告を作成してくれました。ありがとうございました♪



保健管理ネットワークホームページに掲載している
「保健室からこんにちは」
「保健室からこんにちは（全国版）」
「私のおすすめ」を
広島大学 杉原さんが冊子にして
展示してくれました。
ありがとうございました♪



～ポスター会場の様子～



左奥から
島根大学 長廻保健師、愛媛大学 村上看護師
島根大学 河野医師、島根県立大学 永田看護師
みなさん、素敵な笑顔ですね～♪





親睦会にて

第53回全国大学保健管理研究集会 懇親会

2015年9月9日 18:00~20:00
ホテルメトロポリタン盛岡 本館4階「岩手・姫神」

挨拶 岩手大学学長 岩淵 明
公益社団法人全国大学保健管理協会代表理事 川村 孝

乾杯 宮城教育大学保健管理センター所長 尾股 健

さんさ踊り同好会♪

岩手大学保健センター長 瀧原 圭子

岩手大学保健管理センター長 立身 政信



さんさ踊り

藩政時代より踊り受け継がれてきた“さんさ踊り”の起源は、三ツ石伝説に由来しています。

その昔、南部盛岡城下に羅刹鬼(らせつき)という鬼が現れ、悪さをして暴れておりました。困り果てた里人たちは、三ツ石神社の神様に悪鬼の退治を祈願しました。

その願いを聞き入れた神様は悪鬼たちをとらえ、二度と悪さをしないよう誓いの証として、境内の大きな三ツ石に鬼の手形を押させました。(岩に手形…これが“岩手”の名の由来だとも言われています。)

鬼の退散を喜んだ里人たちは、三ツ石のまわりを「さんささんさ」と踊ったのが“さんさ踊り”の始まりだと言われています。

全国大学保健管理研究集会懇親会



かわいい、カッコいい
学生さんたちが
「さんさ踊り」を
披露してくれました〜♪



来年は大阪で開催です！



～アート風な撮影モードでの1枚 2015.9.10 撮影～